

インドネシアとフィリピンの 子どもたちが語る森づくり

木を植え、学び、地域の未来をつくる
「子供の森」計画の現場から



7.14 (月)

時間 18:30~20:00
(開場 18:00)

場所 CIVI北梅田研修センター 506
大阪市北区芝田2-7-18
LUCID SQUARE UMEDA 5F

主催：公益財団法人オイスカ 関西支部

いま世界では、森が失われ、自然災害によって多くの命や暮らしが脅かされています。オイスカ「子供の森」計画では、未来を担う子どもたちが木を植え、育てることを通して、森の大切さを学び、行動する力を育む環境教育を世界各地で行っています。

今回の報告会では、インドネシアとフィリピンから活動に参加している子どもたちと、彼らを支えながら地域で環境教育を推進しているスタッフが来日。それぞれの地域が抱える環境の課題や取り組み、活動を通して育まれている子どもたちの変化や学びの様子をお伝えします。

お申込み方法

専用フォームまたは
FAX(裏面参照)から

▶締め切り 7/11 (金)



専用フォーム

参加費
無料



発表者紹介



アビラル (11歳) 中部ジャワ州ドゥマック出身
インドネシアのことや、「子供の森」計画の活動を日本の友だちに伝えたいです。日本では環境、技術、規律についてどのように考えているかを学び、帰国後は、日本で得た知識を自分の学校や他の学校の友だちに伝えたいです。



ビルキス (10歳) 東ジャワ州パメカサン県出身
日本の環境、文化、心がけについて学びたいです。日本から戻ったら、学んだ知識や経験すべてを友だちやみんなに伝えます。両親にも誇りに思ってもらえるよう、ふるさとマドゥラ島の文化を紹介したいです。



ユウォン (11歳) 南イロコス州出身
ぼくの住んでいる村は南イロコス州の海沿いにあるので、これまで友だちや地域の人たちと一緒にマングローブ植林に取り組んできました。たくさんのことを学び、帰国した後もできるだけたくさん木を植えて、環境保全に貢献したいです。



ギウ (11歳) アブラ州出身
これまで学校でオイスカと植林や学校菜園、ごみの分別に取り組んできました。日本の支援者の皆さんにお礼を言いたいです。また日本の環境を体験して、その経験を「子供の森」計画に参加している他の学校にも紹介したいです。



シラム (9歳) 北カマリネス州出身
日本の文化や持続可能な環境について勉強したいです。日本の皆さんとの交流や親善大使同士の交流、日本の環境保全に関する取り組みの学習などを通して、リーダーシップを高めたいです。

インドネシア
スタッフ・通訳



リファ

カラングニアル県
「子供の森」計画コーディネーター

フィリピン
スタッフ・通訳



デル

オイスカアブラ農林業研修センター所長/
「子供の森」計画コーディネーター

参加方法

【会場参加】



CIVI北梅田
研修センター
506
大阪市北区芝田2-7-18
LUCID SQUARE
UMEDA 5F

お申込み・お問い合わせ

公益財団法人オイスカ「子供の森」計画担当
〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-5
TEL: (03) 3322-5161 E-mail: cfp@oisca.org

「子供の森」計画とは？

公益財団法人オイスカ(国際協力NGO)が取り組む、子どもたちが学校や地域で苗木を植え、育てていく活動を通して、「自然を愛する心」や「緑を大切にする気持ち」を養いながら緑化を進めるプログラムです。

1991年にフィリピンの17校から始まり、現在37ヵ国5,500校以上に広がっています。



Children's Forest Program
「子供の森」計画



「子供の森」
計画HP

参加申込書

FAXでお申込みの方は、こちらの申込書にご記入の上、ご送信ください

FAX送信先

▶ 03-3324-7111

お名前		所属	
部署名		役職	
ご住所			
メールアドレス		電話番号	